

第二部 ワークショップ

～避難所の課題と解決策を考える～

実際の避難所では、様々な課題が起こります。
そして、それをどう解決（処理）して行くのかが問われるのです。

今日お出しする課題は、能登半島地震発生時から珠洲市正院小学校で避難所運営に関わった大月真由美（日本防災士会副理事長、石川県防災士会副理事長）さんが、ご自分の経験をもとにワークショップ用に構成・作成されたものです。
今日は、大月さんのご理解を得て皆さんの研修用に加工させていただきました。

では、各グループに別れて下さい。

課題1

避難所には800人程の避難者がいて、避難所及び避難所駐車場の“どこに誰がいるか”わからない状態になっている。

<解決方法>

<事前にできたこと>

皆さんには避難所を運営する立場に立って、どのように対応して行くか？を考えて頂きます。
考え方としては、以下の2点に絞って下さい。

- 問題に対しどのように解決できるかを具体的に行動レベルで考える
- この問題を防ぐ、または最小限にするには事前にできることは何かを考える

では、スタートです。

課題2

避難所を開設したが……。誰が避難所運営を担当するの？
また、どんな担当が必要？

<解決方法>

<事前にできたこと>

課題3

避難所のトイレが大変なことになっている。

<解決方法>

<事前にできたこと>

課題4

避難所に物資が届くようになった。
しかし、玄関先に荷物が山のようにになっている。
どうしたらいい？

<解決方法>

<事前にできたこと>

課題5

避難所の支援物資を在宅避難者が夜や早朝に持っていくと被災者同士で言い争いをしている。

<解決方法>

<事前にできたこと>

課題6

行政からのお知らせや通知が放送で流されているが、
高齢者やその時にいない人への情報が伝わらない

<解決方法>

<事前にできたこと>